

◎岡山県監査公表第四号

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第九十九条第二項の規定により、平成二十三年度の行政監査を実施したので、その結果を次のとおり公表する。

平成二十四年三月二十三日

岡山県監査委員	佐藤真治
岡山県監査委員	久徳大輔
岡山県監査委員	前川治
岡山県監査委員	大森礼子

平成23年度行政監査結果

〔 平成24年3月23日
岡山県監査公表第4号 〕

岡山県監査委員

目 次

第1	監査の概要	1
1	監査のテーマ	1
2	監査の趣旨及び目的	1
3	監査対象物品及び監査対象機関	1
	(1) 監査対象物品	1
	(2) 監査対象機関	1
4	監査の着眼点	1
	(1) 管理状況について	1
	(2) 活用状況について	1
5	監査の実施期間	1
6	監査の実施方法	1
第2	監査の結果	1
1	総括	1
	(1) 管理状況について	1
	(2) 活用状況について	4
2	各監査対象機関における監査の結果	6
	(1) 産業振興課	6
	(2) 環境保健センター	7
	(3) 工業技術センター	8
	(4) 県立南部高等技術専門校	10
	(5) 農林水産総合センター農業研究所・農業大学校	11
	(6) 農林水産総合センター生物科学研究所	12
	(7) 岡山工業高等学校	13
	(8) 倉敷工業高等学校	14
	(9) 水島工業高等学校	15
	(10) 津山工業高等学校	15
第3	監査の意見	16
	[参考資料]	
	監査対象物品一覧表	18

第1 監査の概要

1 監査のテーマ

高額物品の管理及び活用状況について

2 監査の趣旨及び目的

県が取得し保有する物品は、適切かつ有効に活用され、その取得目的に応じた効果が発揮されなければならない。現下の厳しい財政状況のもと、高額な試験研究機器や工作機械などは、特にその効果の発現が求められる。

このため、これらの高額物品が有効に活用されているかどうかなどについて監査し、県の行財政改革の推進に資するものとする。

3 監査対象物品及び監査対象機関

(1) 監査対象物品

平成22年度末において保有する物品で、取得価格又は評価額が5百万円以上のものを監査対象物品とした。

(2) 監査対象機関

監査対象物品を保有する機関の中から、数量、取得価格、用途等を考慮して、産業振興課、環境保健センター、工業技術センター、県立南部高等技術専門校、農林水産総合センター農業研究所・農業大学校、農林水産総合センター生物科学研究所、岡山工業高等学校、倉敷工業高等学校、水島工業高等学校及び津山工業高等学校を監査対象機関とした。

4 監査の着眼点

(1) 管理状況について

- ア 現物はあるか。
- イ 管理は適切に行われているか。

(2) 活用状況について

- ア 利用記録は整備されているか。
- イ 利用日数の少ないものはないか。
- ウ 効果的に活用されているか。
- エ 利用見込みのないものの措置状況はどうか。

5 監査の実施期間

平成23年11月から平成24年3月までの間に実施した。

6 監査の実施方法

監査対象物品について監査対象機関から監査調書の提出を求め、監査事務局職員による事前調査を実施し、その調査結果を踏まえ、書面により監査委員による監査を実施した。

第2 監査の結果

1 総括

監査対象機関における監査対象物品の管理及び活用状況について監査を行った結果は、次のとおりである。

(1) 管理状況について

- ア 出納局用度課（以下「用度課」という。）作成の指定重要物品の一覧表（以

下「一覧表」という。)と現物との照合

一覧表に登載されている物品があるかどうかについて調査したところ、表1のとおりであった。

一覧表に登載されている543点のうち、現物を確認できたものが508点で、現物を確認できなかったものが35点あった。現物を確認できなかったもののうち、平成23年度になって廃棄したものが14点で、平成22年度以前に廃棄等していたものが21点であった。

平成22年度以前に廃棄等していた21点について調査したところ、不用品の処分について、岡山県財務規則（昭和61年岡山県規則第8号。以下「財務規則」という。）第249条第1項では「県事務所長は、前条第2項により不用品の売払い若しくは廃棄を行う場合又は生産品の売払いを行う場合において、当該物品が重要物品であるときは、知事の承認を受けなければならない。」と規定しているが、表1の廃棄手続（知事承認）未了の欄の16点は、この知事の承認を受けずに廃棄処分を行っていたものであった。また、管理換えしていたもの5点については、平成8年4月と平成11年1月に他の機関に管理換えしていたものであり、管理換え先の機関でその存在等を確認できたが、書類の保存年限を超えていたため、財務規則に基づく管理換えの手続が適正に行われていたかどうかについては検証できなかった。この21点は、用度課が毎年実施している財務規則第251条の規定による物品の出納計算書の会計管理者への報告（以下「物品出納計算書の報告」という。）において、既に現物が存在しないにもかかわらず、3機関（環境保健センター、工業技術センター及び農林水産総合センター生物科学研究所）が現物を確認することなく、当該物品を保管中であると報告していたため、一覧表に登載されていたものである。

次に、各監査対象機関における現物確認の実施状況について調査したところ、3機関（産業振興課年2回実施、倉敷工業高等学校及び津山工業高等学校年1回実施）は定期的実施していたが、その他の機関では有効な現物確認が行われているとは認められなかった。

表1 一覧表と現物との照合結果

(単位：点)

監査対象機関	保有点数	現物を確認できたもの	現物を確認できなかったもの			
			平成23年度になって廃棄したもの	平成22年度以前に廃棄等していたもの		
				廃棄手続（知事承認）未了	管理換えしていたもの	
産業振興課	35	35	0	0	—	0
環境保健センター	69	54	12	3	3	0
工業技術センター	212	195	0	17	13	4
県立南部高等技術専門学校	18	18	0	0	0	0
農林水産総合センター 農業研究所・農業大学校	30	30	0	0	0	0
農林水産総合センター						

生物科学研究所	96	95	0	1	0	1
岡山工業高等学校	20	20	0	0	0	0
倉敷工業高等学校	25	23	2	0	0	0
水島工業高等学校	20	20	0	0	0	0
津山工業高等学校	18	18	0	0	0	0
計	543	508	14	21	16	5

注 保有点数は、一覧表に登載されている監査対象物品数である。

イ 指定重要物品管理台帳の整備状況

物品の管理に当たって、岡山県物品会計事務取扱要綱（昭和61年会第295号）では「物品管理者は、重要物品を常に良好な状態で維持管理し、適正かつ効率的な運用と常に正確な現状把握を行うため、各々指定重要物品管理台帳を設けること。」と規定しており、指定重要物品管理台帳の整備状況について、現物を確認できた508点の中から196点を抽出し現地で調査したところ、全て適正に整備されていた。

ウ 備品標示の状況

物品の管理に当たって、財務規則第246条では「物品は、その品質及び用途に応じて押印、プレート等の方法で県の所有であることを明らかにする標示を付し、かつ、備品については、品名、番号、所属課（所）等を明記しなければならない。」と規定しており、その実施状況について、現物を確認できた508点の中から196点を抽出し現地で調査したところ、表2のとおり、4機関で8点の備品に標示が付されていなかった。

表2 備品標示の状況 (単位：点)

監査対象機関	確認点数	備品標示が付されていたもの	備品標示が付されていなかったもの
産業振興課	20	20	0
環境保健センター	20	19	1
工業技術センター	20	20	0
県立南部高等技術専門校	18	17	1
農林水産総合センター 農業研究所・農業大学校	20	20	0
農林水産総合センター 生物科学研究所	20	19	1
岡山工業高等学校	20	20	0
倉敷工業高等学校	20	15	5
水島工業高等学校	20	20	0
津山工業高等学校	18	18	0
計	196	188	8

エ 維持管理の状況

メンテナンス等の実施状況について調査したところ、いずれの機関も必要に応じて実施しているとのことであった。

なお、産業振興課、環境保健センター、工業技術センター及び県立南部高等技術専門校の4機関は、維持管理の状況を記録しており、その記録により確認できたが、その他の機関では具体的な記録がなかったため、聞き取りでの調査を行った。

次に、現物を確認できた508点が使用可能な状態であるかどうかについて調査したところ、表3のとおり、430点は使用可能な状態であったが、故障等の状態のものが78点あった。このうち、修理不能等使用不能のため廃棄する予定のもの又は廃棄を検討中のものが53点、今後利用する可能性のあるもの又は機能の一部を利用中等のものが23点、処理方針を検討中のものが2点であった。

詳細については、第2の2の各監査対象機関における監査の結果に記載するが、故障等の状態のものの78点のうち61点が、平成22年度の利用実績がない又は1日～9日のものであった。

表3 物品の状態 (単位：点)

監査対象機関	調査点数	使用可能	故障等の状態のもの			
			廃棄予定又は廃棄を検討中	利用する可能性あり又は機能の一部を利用中等	処理方針を検討中	
産業振興課	35	32	3	3	0	0
環境保健センター	54	49	5	1	4	0
工業技術センター	195	175	20	15	4	1
県立南部高等技術専門校	18	18	0	0	0	0
農林水産総合センター 農業研究所・農業大学校	30	24	6	2	3	1
農林水産総合センター 生物科学研究所	95	63	32	28	4	0
岡山工業高等学校	20	19	1	1	0	0
倉敷工業高等学校	23	17	6	0	6	0
水島工業高等学校	20	19	1	0	1	0
津山工業高等学校	18	14	4	3	1	0
計	508	430	78	53	23	2

オ 企業等外部への利用許可手続の状況

産業振興課、工業技術センター及び農林水産総合センター生物科学研究所において、企業等外部に利用を認めている備品に係る利用許可手続の状況について調査したところ、いずれも、条例等に基づき適正に事務処理が行われているものと認められた。

(2) 活用状況について

ア 利用記録

現物を確認できた508点の利用状況を把握しているかどうかについて調査したところ、表4のとおり、利用記録簿で確認できたものが242点、研究報告書、作業日誌、実習の時間割表その他の資料で確認できたものが263点で

あったが、利用状況が確認できなかったものが3点あった。

表4 利用状況の把握

(単位：点)

監査対象機関	調査点数	確認できたもの		確認できなかったもの
		利用記録簿で確認できたもの	その他の資料で確認できたもの	
産業振興課	35	30	4	1
環境保健センター	54	17	37	0
工業技術センター	195	140	53	2
県立南部高等技術専門校	18	0	18	0
農林水産総合センター 農業研究所・農業大学校	30	12	18	0
農林水産総合センター 生物科学研究所	95	43	52	0
岡山工業高等学校	20	0	20	0
倉敷工業高等学校	23	0	23	0
水島工業高等学校	20	0	20	0
津山工業高等学校	18	0	18	0
計	508	242	263	3

イ 利用日数

現物を確認できた508点について、平成22年度の利用実績を調査したところ、表5のとおり、平成22年度の利用実績が10日以上のもものが376点、1日～9日のもものが35点、利用実績がないものが94点あり、利用実績がない又は1日～9日のもものが合計129点であった。また、利用実績が不明のもものが3点あった。

利用実績がない又は1日～9日の理由は、故障等によるものが61点、研究課題の終了等によるものが40点、試験能力等を確保するため保有しているものが16点、平成22年度中に取得したことによるものが7点、機器（コンバイン）の使用目的によるものが5点であった。

表5 平成22年度の利用実績

(単位：点)

監査対象機関	調査点数	利用実績が10日以上のもの	利用実績がない又は1日～9日のもの			利用実績が不明のもの
			利用実績が1日～9日のもの	利用実績がないもの		
産業振興課	35	26	8	4	4	1
環境保健センター	54	42	12	3	9	0
工業技術センター	195	156	37	14	23	2
県立南部高等技術専門校	18	16	2	0	2	0
農林水産総合センター 農業研究所・農業大学校	30	14	16	9	7	0
農林水産総合センター 生物科学研究所	95	48	47	4	43	0

岡山工業高等学校	20	19	1	0	1	0
倉敷工業高等学校	23	22	1	0	1	0
水島工業高等学校	20	19	1	1	0	0
津山工業高等学校	18	14	4	0	4	0
計	508	376	129	35	94	3

ウ 効果的な活用

監査対象機関のうち試験研究機関においては、試験や研究に必要な専門性の高い機器等が備えられており、また、県立南部高等技術専門校や各工業高等学校においては、実習に必要な工作機械等が備えられているところであるが、利用実績等を勘案すると、いずれの機関においても、概ね、導入目的に応じた活用がなされていると認められた。

なお、第2の1(2)イの利用実績がない又は1日～9日のもの129点のうち、故障等によるもの61点及び研究課題の終了等によるもの40点については、当該事由が発生するまでは、目的に応じた活用がなされていたとの報告がなされている。

エ 利用見込みのないものの措置状況

利用見込みがないものについては、管理換え、転用等、売払い、廃棄のいずれかの措置を執ることが必要であり、平成22年度に処理された15点について調査したところ、転用(3点)、売払い(3点)及び廃棄(9点)されたものであり、いずれも適正に処理されていると認められた。しかしながら、一部機関においては、故障等の状態で長期間利用されていないにもかかわらず、そのまま保管されているものが見受けられた。

2 各監査対象機関における監査の結果

- (1) 産業振興課(岡山セラミックスセンター(32点)、テレポート岡山(2点)及び岡山リサーチパークインキュベーションセンター(1点)に設置)

ア 管理状況について

(ア) 一覧表と現物との照合

一覧表に登載されている35点全て現物を確認できた。

(イ) 指定重要物品管理台帳の整備状況

現物を確認できた35点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、全て適正に整備されていた。

(ウ) 備品標示の状況

現物を確認できた35点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、全て適正に標示されていた。

(エ) 維持管理の状況

維持管理の状況を現地で調査したところ、職員による仕業点検や、精度維持のために必要な定期点検を実施するなど、適正に保守管理を行っているとのことであり、その状況を記録していた。

また、故障等の状態のものが3点あった。

- ・使用不能のため廃棄する予定のもの又は廃棄を検討中のもの(3点)
高温荷重軟化試験炉(平成4年3月31日取得)等

なお、3点とも平成22年度の利用実績がなかった。

(オ) 企業等外部への利用許可手続の状況

条例等に基づき適正に事務処理が行われているものと認められた。

イ 活用状況について

(ア) 利用記録

利用状況を確認できなかったものが1点(汎用旋盤(平成5年3月31日取得))あったが、これは、研究員が利用した際に利用記録簿への記入を怠ったことによるものであった。

(イ) 利用日数

a 平成22年度の利用実績が1日～9日のもの(4点)

- ・研究テーマの見直しによるもの(3点)
万能材料試験機(平成18年4月1日取得)等
- ・平成22年度中に取得したことによるもの(1点)
熱間圧縮強さ測定装置(平成23年1月28日取得)

b 平成22年度の利用実績がないもの(4点)

- ・故障等によるもの(3点)
高温荷重軟化試験炉(平成4年3月31日取得)等
- ・研究テーマの見直しによるもの(1点)
走査電子顕微鏡(平成4年1月14日取得)

この機器は岡山セラミックスセンターに設置されているものであるが、同センターでは今後の利用見込みがない。老朽化しているが使用可能な状態であるため、管理換え等について検討中である。

(2) 環境保健センター

ア 管理状況について

(ア) 一覧表と現物との照合

一覧表に登載されている69点のうち、現物を確認できたものは54点で、現物を確認できなかった15点は、平成23年度になって廃棄した気象観測セット等12点及び平成22年度以前に廃棄していたガンマ線測定装置等3点である。

平成22年度以前に廃棄していた3点について調査したところ、いずれも財務規則に基づく知事の承認を受けずに廃棄処分を行っていたものであった。この3点は、物品出納計算書の報告において、既に現物が存在しないにもかかわらず、現物を確認することなく、当該物品を保管中であると報告していたため、一覧表に登載されていたものである。

(イ) 指定重要物品管理台帳の整備状況

現物を確認できた54点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、全

て適正に整備されていた。

(り) 備品標示の状況

現物を確認できた54点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、定量PCR装置に標示されていなかった。

(エ) 維持管理の状況

維持管理の状況を現地で調査したところ、精度維持のために必要な定期点検を実施するなど、適正に保守管理を行っているとのことであり、その状況を記録していた。

また、故障等の状態のものが5点あった。

- ・使用不能のため廃棄する予定のもの（1点）
質量分析計（平成6年3月31日取得）
- ・今後利用する可能性のあるもの（3点）
超遠心機（平成元年3月31日取得）等
- ・機能の一部を利用中のもの（1点）
定量PCR装置（平成14年3月11日取得）

なお、定量PCR装置以外の4点は平成22年度の利用実績がなかった。

(オ) 企業等外部への利用許可手続の状況

該当なし。

イ 活用状況について

(ア) 利用記録

研究報告書等により利用状況を確認できた。

(イ) 利用日数

a 平成22年度の利用実績が1日～9日のもの（3点）

- ・故障等によるもの（1点）
定量PCR装置（平成14年3月11日取得）
- ・試験能力を確保するため保有しているもの（2点）
蛍光X線分析システム（平成7年2月28日取得）
超遠心機システム（平成7年3月31日取得）

この2点は平成22年度には試験業務がなかったが、法的に必要な検査等に使用するための機器であり、検査能力を確保するため保有しておく必要があるものである。

b 平成22年度の利用実績がないもの（9点）

- ・故障等によるもの（4点）
超遠心機（平成元年3月31日取得）等
- ・試験能力を確保するため保有しているもの（5点）
航空機・新幹線用自動演算騒音計（平成10年3月19日取得）等

(3) 工業技術センター

ア 管理状況について

(ア) 一覧表と現物との照合

一覧表に登載されている212点のうち、現物を確認できたものは195点で、

現物を確認できなかった17点は、平成22年度以前に廃棄していた試験用混練装置等13点及び平成22年度以前に管理換えしていた小型押出成形機等4点である。

平成22年度以前に廃棄していた13点について調査したところ、いずれも財務規則に基づく知事の承認を受けずに廃棄処分を行っていたものであった。また、平成22年度以前に管理換えしていた4点について調査したところ、いずれも平成8年4月に管理換えしていたものであり、管理換え先の産業振興課でその存在を確認できたが、書類の保存年限を超えていたため、財務規則に基づく管理換えの手続が行われていたかどうかについては検証できなかった。この17点は、物品出納計算書の報告において、既に現物が存在しないにもかかわらず、現物を確認することなく、当該物品を保管中であると報告していたため、一覧表に登載されていたものである。

(イ) 指定重要物品管理台帳の整備状況

現物を確認できた195点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、全て適正に整備されていた。

(ロ) 備品標示の状況

現物を確認できた195点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、全て適正に標示されていた。

(エ) 維持管理の状況

維持管理の状況を現地で調査したところ、メンテナンス等は必要の都度行っているとのことであり、その状況を記録していた。

また、故障等の状態のものが20点あった。

・ 使用不能のため廃棄する予定のもの（14点）

精密形状測定機（平成7年3月24日取得）等

・ 修理費が高額なため廃棄する予定のもの（1点）

粉体ガス反応装置（平成7年3月20日取得）

・ 修理中又は修理予定のもの（3点）

比表面積測定装置（平成16年11月26日取得）等

・ 機能の一部を利用中のもの（1点）

キャピラリーレオメーター（平成7年3月31日取得）

・ 修理費が高額なため処理方針を検討中のもの（1点）

pH精密制御ゼータ電位測定装置（平成14年9月25日取得）

なお、使用不能のため廃棄する予定のもの14点のうち、精密形状測定機等11点は平成22年度の利用実績がなかった。

(オ) 企業等外部への利用許可手続の状況

条例等に基づき適正に事務処理が行われているものと認められた。

イ 活用状況について

(ア) 利用記録

利用状況を確認できなかったものが2点（極箔試験片作成装置（平成22年11月4日取得）及びナノカーボン表面物性測定装置（平成22年11月4日

取得)) あったが、これは、平成22年度下期に寄附を受けた物品で、主に共同研究参画企業が利用しており、利用状況を把握していなかったことによるものであった。なお、平成23年度からは利用状況を記録していた。

(イ) 利用日数

- a 平成22年度の利用実績が1日～9日のもの(14点)
 - ・研究テーマの見直しによるもの(13点)
 - 高温焼成炉(平成7年3月31日取得)等
 - ・故障等によるもの(1点)
 - 粉体ガス反応装置(平成7年3月20日取得)
- b 平成22年度の利用実績がないもの(23点)
 - ・故障等によるもの(11点)
 - 精密形状測定機(平成7年3月24日取得)等
 - ・研究テーマの見直しによるもの(10点)
 - 製麴ミニプラント(平成7年3月31日取得)等
 - ・平成22年度中に取得したことによるもの(2点)
 - 車両走行解析ソフト(平成23年3月30日取得)
 - 3次元CADシステム(平成23年3月30日取得)

(4) 県立南部高等技術専門校

ア 管理状況について

(ア) 一覧表と現物との照合

一覧表に登載されている18点全て現物を確認できた。

(イ) 指定重要物品管理台帳の整備状況

保有している18点について現地で調査したところ、全て適正に整備されていた。

(ウ) 備品標示の状況

保有している18点について現地で調査したところ、NCルータに標示されていなかった。

(エ) 維持管理の状況

維持管理の状況を現地で調査したところ、メンテナンス等は必要の都度行っているとのことであり、その状況を記録していた。

なお、18点全て使用可能な状態であった。

(オ) 企業等外部への利用許可手続の状況

該当なし。

イ 活用状況について

(ア) 利用記録

利用記録簿は備えていないが、年間時間割で利用状況を確認できた。

(イ) 利用日数

- a 平成22年度の利用実績が1日～9日のもの(0点)
- b 平成22年度の利用実績がないもの(2点)
 - ・訓練内容の変更によるもの(2点)

自動旋盤（平成2年3月23日取得）

NCルータ（平成11年12月15日取得）

この2点は今後の利用見込みはないが、いずれも使用可能な状態であるため、管理換え等について検討中である。

(5) 農林水産総合センター農業研究所・農業大学校

ア 管理状況について

(ア) 一覧表と現物との照合

一覧表に登載されている30点全て現物を確認できた。

(イ) 指定重要物品管理台帳の整備状況

現物を確認できた30点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、全て適正に整備されていた。

(ウ) 備品標示の状況

現物を確認できた30点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、全て適正に標示されていた。

(エ) 維持管理の状況

維持管理の状況を現地で調査したところ、メンテナンス等は必要の都度行っているとのことであったが、その状況を記録していなかった。

また、故障等の状態のものが6点あった。

- ・使用不能のため廃棄する予定のもの（1点）

ガスクロマトグラフ（平成6年11月30日取得）

- ・修理費が高額なため廃棄する予定のもの（1点）

光合成蒸散測定装置（平成5年3月31日取得）

- ・今後利用する可能性のあるもの（1点）

キャピラリー電気泳動システム（平成11年1月20日取得）

- ・修理しながら利用中のもの（1点）

スピードスプレーヤー（平成15年5月26日取得）

- ・機能の一部を利用中のもの（1点）

日射観測給液制御システム（平成5年10月4日取得）

- ・修理費が高額なため処理方針を検討中のもの（1点）

近赤外線品質食味分析計（平成4年3月24日取得）

なお、スピードスプレーヤーと日射観測給液制御システム以外の4点は平成22年度の利用実績がなかった。

(オ) 企業等外部への利用許可手続の状況

該当なし。

イ 活用状況について

(ア) 利用記録

利用記録簿、作業日誌、成績書、野帳等で利用状況を確認できた。

(イ) 利用日数

- a 平成22年度の利用実績が1日～9日のもの（9点）

- ・試験能力を確保するため保有しているもの（1点）

- 光合成蒸散測定装置（平成20年12月18日取得）
- ・平成22年度中に取得したことによるもの（3点）
- 病原菌接種用高湿度環境制御庫（平成23年1月31日取得）等
- ・当該機器の使用目的によるもの（5点）
- 自脱型コンバイン（平成9年3月12日）等
- 5点ともコンバインである。
- b 平成22年度の利用実績がないもの（7点）
- ・故障等によるもの（4点）
- ガスクロマトグラフ（平成6年11月30日取得）等
- ・試験課題の終了によるもの（3点）
- 超遠心分離器（平成9年2月14日取得）等
- (6) 農林水産総合センター生物科学研究所
- ア 管理状況について
- (7) 一覧表と現物との照合
- 一覧表に登載されている96点のうち、現物を確認できたものは95点で、現物を確認できなかった1点は、平成22年度以前に管理換えしていた自然環境再現装置である。
- 自然環境再現装置について調査したところ、平成11年1月に管理換えしていたものであり、管理換え先の環境保健センターで廃棄済みであることを確認できたが、書類の保存年限を超えていたため、財務規則に基づく管理換えの手続が行われていたかどうかについては検証できなかった。この機器については、物品出納計算書の報告において、既に現物が存在しないにもかかわらず、現物を確認することなく、当該物品を保管中であると報告していたため、一覧表に登載されていたものである。
- (イ) 指定重要物品管理台帳の整備状況
- 現物を確認できた95点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、全て適正に整備されていた。
- (ウ) 備品標示の状況
- 現物を確認できた95点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、高速液体クロマトグラフに標示されていなかった。
- (エ) 維持管理の状況
- 維持管理の状況を現地で調査したところ、精度維持のために必要な定期点検を実施するなど、適正に保守管理を行っているとのことであったが、その状況を記録していなかった。
- また、故障等の状態のものが32点あった。
- ・使用不能のため廃棄する予定のもの（28点）
- 自動コロニーカウンター（平成9年1月22日取得）等
- 本研究所では、平成8年10月1日の開所以来、故障したものも含めて、高額物品を処分していない。理由は、外国製の機器が多く修理費が高額なため、使用不能となったものを部品取り

のために保存しているということであった。

- ・今後利用する可能性のあるもの（4点）

蛍光式塩基配列決定装置（平成5年10月29日取得）等

なお、32点全て平成22年度の利用実績がなかった。

- (オ) 企業等外部への利用許可手続の状況

条例等に基づき適正に事務処理が行われているものと認められた。

イ 活用状況について

- (ア) 利用記録

利用記録簿又は研究発表文書等で利用状況を確認できた。

- (イ) 利用日数

- a 平成22年度の利用実績が1日～9日のもの（4点）

- ・研究能力を確保するため保有しているもの（4点）

ルミノイメージャー（平成10年3月26日取得）等

- b 平成22年度の利用実績がないもの（43点）

- ・故障等によるもの（32点）

自動コロニーカウンター（平成9年1月22日取得）等

- ・研究課題の終了によるもの（6点）

生体サンプル分離システム（平成8年10月7日取得）等

- ・研究能力を確保するため保有しているもの（4点）

遺伝子導入装置（平成8年9月20日取得）等

- ・平成22年度中に取得したことによるもの（1点）

DNAマイクロアレイスキャナー（平成23年2月15日取得）

- (7) 岡山工業高等学校

ア 管理状況について

- (ア) 一覧表と現物との照合

一覧表に登載されている20点全て現物を確認できた。

- (イ) 指定重要物品管理台帳の整備状況

保有している20点について現地で調査したところ、全て適正に整備されていた。

- (ウ) 備品標示の状況

保有している20点について現地で調査したところ、全て適正に標示されていた。

- (エ) 維持管理の状況

維持管理の状況を現地で調査したところ、メンテナンス等は必要の都度行っているとのことであったが、その状況を記録していなかった。

また、故障等の状態のものが1点あった。

- ・使用不能のため廃棄する予定のもの（1点）

トータルステーション（平成8年3月5日取得）

なお、トータルステーションは平成22年度の利用実績がなかった。

- (オ) 企業等外部への利用許可手続の状況

該当なし。

イ 活用状況について

(ア) 利用記録

利用記録簿は備えていないが、年間時間割で利用状況を確認できた。

(イ) 利用日数

a 平成22年度の利用実績が1日～9日のもの(0点)

b 平成22年度の利用実績がないもの(1点)

・故障等によるもの(1点)

トータルステーション(平成8年3月5日取得)

(8) 倉敷工業高等学校

ア 管理状況について

(ア) 一覧表と現物との照合

一覧表に登載されている25点のうち、現物を確認できたものは23点で、現物を確認できなかった2点は、平成23年度になって廃棄した産業用ロボット及び自動制御装置である。

(イ) 指定重要物品管理台帳の整備状況

現物を確認できた23点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、全て適正に整備されていた。

(ウ) 備品標示の状況

現物を確認できた23点の中から20点を抽出し現地で調査したところ、制御実習装置等5点に標示されていなかった。

いずれも油を使用する機械で、掃除等の際備品標示シールが剥がれ易いことが原因であった。

(エ) 維持管理の状況

維持管理の状況を現地で調査したところ、メンテナンス等は必要の都度行っているとのことであったが、その状況を記録していなかった。

また、故障等の状態のものが6点あった。

・今後利用する可能性のあるもの(1点)

CNCフライス盤(平成6年3月31日取得)

・修理しながら利用中のもの(4点)

位置決め制御実習装置(平成6年12月9日取得)等

・機能の一部を利用中のもの(1点)

FAシステム(平成6年9月26日取得)

なお、CNCフライス盤は平成22年度の利用実績がなかった。

(オ) 企業等外部への利用許可手続の状況

該当なし。

イ 活用状況について

(ア) 利用記録

利用記録簿は備えていないが、年間時間割で利用状況を確認できた。

(イ) 利用日数

- a 平成22年度の利用実績が1日～9日のもの（0点）
- b 平成22年度の利用実績がないもの（1点）
 - ・故障等によるもの（1点）

CNCフライス盤（平成6年3月31日取得）

(9) 水島工業高等学校

ア 管理状況について

(ア) 一覧表と現物との照合

一覧表に登載されている20点全て現物を確認できた。

(イ) 指定重要物品管理台帳の整備状況

保有している20点について現地で調査したところ、全て適正に整備されていた。

(ウ) 備品標示の状況

保有している20点について現地で調査したところ、全て適正に標示されていた。

(エ) 維持管理の状況

維持管理の状況を現地で調査したところ、メンテナンス等は必要の都度行っているとのことであったが、その状況を記録していなかった。

また、故障等の状態のものが1点あった。

- ・機能の一部を利用中のもの（1点）

ロボット制御装置（平成6年3月31日取得）

(オ) 企業等外部への利用許可手続の状況

該当なし。

イ 活用状況について

(ア) 利用記録

利用記録簿は備えていないが、年間時間割で利用状況を確認できた。

(イ) 利用日数

- a 平成22年度の利用実績が1日～9日のもの（1点）
 - ・訓練内容の変更によるもの（1点）

精留装置（平成13年11月21日取得）

- b 平成22年度の利用実績がないもの（0点）

(10) 津山工業高等学校

ア 管理状況について

(ア) 一覧表と現物との照合

一覧表に登載されている18点全て現物を確認できた。

(イ) 指定重要物品管理台帳の整備状況

保有している18点について現地で調査したところ、全て適正に整備されていた。

(ウ) 備品標示の状況

保有している18点について現地で調査したところ、全て適正に標示されていた。

(エ) 維持管理の状況

維持管理の状況を現地で調査したところ、メンテナンス等は必要の都度行っているとのことであったが、その状況を記録していなかった。

また、故障等の状態のものが4点あった。

- ・使用不能のため廃棄を検討中のもの（3点）

数値制御工作機（昭和55年3月26日取得）等

数値制御工作機は、教室1室を占有している状態であるが、大型機械であるため廃棄費用が高額となることから、長期間廃棄処分ができていない。

- ・機能の一部を利用中のもの（1点）

F Aシステム（平成6年9月21日取得）

なお、F Aシステム以外の3点は平成22年度の利用実績がなかった。

(オ) 企業等外部への利用許可手続の状況

該当なし。

イ 活用状況について

(ア) 利用記録

利用記録簿は備えていないが、年間時間割で利用状況を確認できた。

(イ) 利用日数

- a 平成22年度の利用実績が1日～9日のもの（0点）

- b 平成22年度の利用実績がないもの（4点）

- ・故障等によるもの（3点）

数値制御工作機（昭和55年3月26日取得）等

- ・訓練内容の変更によるもの（1点）

シェルモールド装置（平成10年11月17日取得）

第3 監査の意見

本県は、平成22年度末時点で、取得価格又は評価額では約117億円、数量では867点の高額物品を保有しているが、これらを含めた全ての物品は県民共有の貴重な財産である。従って、監査の趣旨及び目的にも記載のとおり、これらの物品は、適切かつ有効に活用され、その取得目的に応じた効果が発揮されなければならない。

このような観点から、今回、産業振興課等10機関を監査対象機関に選定し、当該機関が保有する高額物品（平成22年度末時点で、約75億円、543点）について、その管理及び活用状況について監査を実施したところ、次のとおり、改善を要するものや改善することが望ましいものが認められた。

まず、今回の監査で、出納局用度課作成の指定重要物品の一覧表と現物との照合等を行ったところ、財務規則に基づく知事の承認を受けずに廃棄処分を行っていたものや物品出納計算書の報告に誤りがあり現物を確認できなかったもの、さらには、備品標示が付されていないものが見受けられた。これらはいずれも財務規則に定められた事務処理が適正に行われていないものであり、適切な措置を講じられたい。

次に、メンテナンス等の実施状況について調査したところ、いずれの機関も必要に応じて実施しているとのことであったが、一部において、維持管理の状況に関する具

体的な記録がない機関が見受けられた。高額物品を適切かつ有効に活用し、その取得目的に応じた効果を発揮させるためには、その機能を良好な状態に保っておくことが重要である。そのためには、適切な維持管理の実施に併せて、その実施状況を記録しておくことが望ましい。

また、使用可能な状態であるかどうかについて調査したところ、長期に渡り、使用不能の機器を多数保有しているものや教室1室を使用不能の機械に占用させたままになっているものが見受けられた。保管場所の確保にはコストがかかっているという認識をもって、使用不能であるものについては、転用や廃棄等の処分方針を検討の上、速やかに処理することが望ましい。

さらに、利用実績等を調査したところ、いずれの機関においても、おおむね、導入目的に応じた活用がなされていると認められた。高額物品を保有している機関においては、利用記録簿等により、常にその利用状況を確認し、当該物品が有効に活用されているかどうかについて把握するとともに、利用見込みのないものについては、他機関での活用も検討しながら、適切な管理を行うことが望ましい。

今回の監査結果を踏まえ、高額物品はもとより、それ以外の重要物品についても、全ての機関において常に自己点検を実施し、物品の適正な管理と有効活用を図るよう望むものである。

監査対象物品一覧表

産業振興課

品名	取得年月日	取得価格又は 評価額 (円)
高温荷重軟化試験炉	平成4年3月31日	6,589,000
加熱炉	平成19年4月1日	12,579,000
小型混練機	平成19年12月18日	6,247,500
汎用旋盤	平成5年3月31日	5,085,200
一軸押出機	平成23年2月18日	6,856,500
ラバープレス	平成4年1月30日	5,971,000
テレポート岡山ビル中央監視装置	平成21年2月20日	9,550,000
自動ガス／蒸気吸着量測定装置	平成17年4月1日	8,085,000
高温熱伝導率自動測定装置	平成16年2月10日	8,500,000
熱膨張試験装置	平成23年1月28日	14,175,000
高温粘性測定装置	平成22年1月28日	26,460,000
熱間弾性率測定装置	平成13年3月30日	10,967,500
熱定数測定装置	平成17年2月28日	17,057,500
熱間圧縮強さ測定装置	平成23年1月28日	19,824,000
分光光度計	平成3年3月30日	6,125,500
パソコンLANシステム	平成5年3月31日	9,885,000
ギガビットイーサネットスイッチシステム	平成13年3月14日	7,030,000
X線回析装置	平成15年9月12日	15,519,000
X線分析装置	平成17年12月16日	17,220,000
蛍光X線分析装置	平成20年11月27日	29,400,000
熱分析システム	平成19年7月27日	7,009,000
粉碎装置	平成5年3月31日	6,125,500
画像解析装置	平成4年3月31日	6,125,500
カーボン分析計	平成14年10月23日	10,075,000
酸素・窒素分析装置	平成19年10月31日	11,970,000
荷重軟化試験機	平成18年9月29日	16,480,000
万能材料試験機	平成2年8月20日	11,430,000
万能材料試験機	平成2年8月31日	16,126,800
万能材料試験機	平成18年4月1日	11,550,000
分級装置	平成5年3月31日	9,256,700
走査電子顕微鏡	平成4年1月14日	7,691,100
蛍光顕微鏡システム	平成19年10月31日	6,024,900
走査型電子顕微鏡	平成20年3月19日	10,862,500

平成24年3月23日 岡山県公報 号外

レーザー顕微鏡	平成20年9月30日	9,240,000
マイクロスコープ	平成18年4月1日	7,875,000
計 35点		390,968,700

環境保健センター

品 名	取得年月日	取得価格又は 評価額 (円)
移動コンテナ型局舎	昭和63年2月28日	5,000,000
ドラフトチャンバー	平成14年3月29日	17,950,000
排ガス洗浄装置付ドラフトチャンバー	平成15年3月24日	8,710,000
ドラフトチャンバー	平成17年12月9日	8,762,500
係留ゾンデシステム	平成5年3月31日	10,300,000
気象観測セット	平成5年3月31日	16,995,000
S K I 気象観測装置	平成20年3月17日	29,904,000
土壌水分計	平成15年3月31日	5,040,000
航空機・新幹線用自動演算騒音計	平成10年3月19日	5,350,000
大気中フッ素自動測定装置	平成16年3月29日	6,384,000
大気中フッ素自動測定装置	平成16年3月29日	6,384,000
ネットワークスペクトラムアナライザ	平成3年10月18日	8,237,000
大気中フッ素自動測定装置	平成17年3月30日	6,825,000
原子吸光分光光度計	平成3年1月31日	8,497,500
高周波誘導結合プラズマ発光分光分析装置	平成11年3月29日	19,367,500
原子吸光分析装置(水銀分析装置)	平成13年3月5日	5,245,000
マイクロプレートリーダー	平成14年3月15日	5,350,000
γ線スペクトロメーター	平成3年3月29日	49,337,000
ガンマ線測定装置	平成4年3月31日	8,652,000
γ線スペクトロメーター	平成9年3月28日	36,874,000
可搬型モニタリングポスト	平成10年3月27日	6,405,000
放射能測定装置(可搬型Ge半導体検出器)	平成12年3月31日	7,822,500
I C P 質量分析装置	平成13年3月30日	19,635,000
液体シンチレーションカウンター	平成14年2月19日	8,977,500
低バックグラウンド自動測定装置	平成15年2月28日	6,541,500
中性子モニタリングポスト	平成13年3月30日	31,185,000
放射線測定装置	平成16年3月26日	23,100,000
放射線測定装置	平成16年3月26日	23,100,000
モニタリングポスト	平成17年3月14日	8,085,000

平成24年3月23日 岡山県公報 号外

放射線（γ）測定装置	平成17年3月30日	11,445,000
γ線測定装置	平成18年2月16日	6,090,000
放射能測定装置	平成18年2月28日	7,560,000
放射能測定装置	平成19年3月20日	16,275,000
放射能測定装置	平成19年3月30日	35,910,000
中性子測定装置	平成23年2月28日	9,030,000
中性子測定装置	平成23年2月28日	9,030,000
中性子測定装置	平成23年2月28日	9,030,000
環境放射線等監視システム	平成23年3月18日	73,447,500
多項目自動血球計数装置	平成9年3月19日	7,031,900
発動発電機	昭和56年12月8日	9,450,000
放射線監視システム2000年対応部	平成11年11月30日	30,910,950
蛍光X線分析システム	平成7年2月28日	52,012,000
超遠心機	平成元年3月31日	15,000,000
卓上型超遠心機	平成5年3月31日	5,940,000
超遠心機システム	平成7年3月31日	14,005,000
高速液体クロマトグラフ	平成5年3月31日	15,395,500
ガスクロマトグラフ	平成7年3月31日	5,662,000
高速液体クロマトグラフ	昭和61年3月31日	5,440,000
液体クロマトグラフ	平成4年3月31日	6,299,500
ガスクロマトグラフ質量分析計	平成12年2月15日	16,060,000
ガスクロマトグラフ装置	平成7年3月31日	5,044,000
ガスクロマトグラフ	平成7年3月31日	9,648,100
高速液体クロマトグラフ	平成9年3月14日	8,257,600
高速液体クロマトグラフ	平成12年2月2日	7,807,000
イオンクロマトグラフ分析装置	平成15年3月17日	9,982,600
ガスクロマトグラフ質量分析計	平成21年12月21日	9,975,000
超臨界流体抽出装置	平成7年2月28日	12,460,000
高速溶媒抽出装置	平成17年7月12日	6,347,500
灰化炉	平成15年3月10日	12,442,500
キャピラリー電気泳動システム	平成13年2月14日	6,599,500
パーティラップ装置	平成11年3月31日	5,652,400
質量分析計	平成6年3月31日	16,455,300
DNAシーケンサー	平成13年3月6日	5,108,500
定量PCR装置	平成14年3月11日	7,964,500
遺伝子組換え食品検査 定量PCR装置	平成15年7月17日	15,873,100
VOCキャニスター分析用GC/MS	平成20年3月7日	10,705,000

平成24年3月23日 岡山県公報 号外

DNAシーケンサー	平成22年3月25日	16,406,250
ゲルマニウム半導体核種分析装置	平成4年3月31日	9,991,000
電子顕微鏡	平成3年11月30日	38,828,000
計 69点		980,588,200

工業技術センター

品名	取得年月日	取得価格又は 評価額 (円)
製麺ミニプラント	平成7年3月31日	13,902,000
多目的加熱炉	平成7年3月31日	5,136,700
高温超高真空炉	平成7年3月31日	7,825,000
成形研削盤	平成5年11月30日	9,122,800
超精密円筒研削盤	平成6年2月25日	31,000,000
研磨機	平成18年1月20日	10,857,000
極箔試験片作成装置	平成22年11月4日	5,730,368
試験用混練装置	平成6年1月31日	20,700,000
二軸押出機	平成11年1月29日	31,699,500
バンバリーミキサー	平成18年3月9日	32,760,000
混練性試験機	平成21年2月20日	18,900,000
高温焼成炉	平成7年3月31日	5,044,000
小型押出成形機	平成7年3月31日	8,597,500
静水圧処理装置	平成7年3月31日	6,228,500
二軸押し出し機サイドフィーダー	平成9年3月20日	9,576,000
射出成型機	平成10年3月2日	6,011,500
ペレット製造装置	平成15年1月17日	6,295,000
繊維強化コンポジット成形装置	平成21年10月30日	7,140,000
微細レーザー加工システム	平成16年12月22日	40,950,000
レーザー表面加工機	平成23年1月7日	8,379,000
高温高圧ロータリー染色試験機	平成2年12月27日	5,765,000
高温高圧流体染色装置	平成13年1月25日	13,897,000
インジゴローブ染色試験機	平成19年11月19日	9,030,000
超精密旋盤	平成7年3月31日	72,715,000
多軸超精密旋盤	平成17年2月28日	65,583,000
ナノ粒子製造装置	平成21年11月25日	13,912,500
超臨界流体加工装置	平成17年2月28日	11,529,000
大面積電子ビーム装置	平成17年12月20日	39,060,000
NCフライス盤	平成6年3月30日	6,846,500
精密カッティング高速グライディング 粉砕機	平成21年11月27日	13,015,000

インクジェット式パターンニング装置	平成21年1月9日	14,319,900
蒸気加熱式ロール機	平成7年3月10日	9,473,000
電気加熱ロール機	平成14年2月8日	8,059,000
形彫り放電加工機	平成6年2月10日	27,086,000
超微細放電加工機用WEDGユニット	平成11年10月21日	5,763,700
ワイヤカット放電加工機	平成20年11月26日	10,710,000
ウォータージェットカッター	平成22年1月28日	26,145,000
7自由度ロボットアーム装置	平成13年12月21日	7,993,650
能動制御システム	平成19年12月19日	7,329,000
フィルム押出装置	昭和58年2月28日	5,400,000
E M I 測定システム	平成17年12月27日	20,265,000
静電気波形観測装置	平成7年3月31日	7,197,700
インピーダンスアナライザ	平成11年10月12日	6,179,500
水分ガス吸着性測定装置	平成5年2月28日	13,750,400
高周波電気定数測定装置	平成22年12月27日	15,087,194
キャピラリーレオメーター	平成7年3月31日	16,995,000
真円度測定機	昭和63年8月20日	6,970,000
表面形状測定器	平成7年1月9日	11,425,000
精密形状測定機	平成7年3月24日	24,923,000
表面形状測定器	平成20年12月17日	9,450,000
変角光度計	平成5年11月30日	10,770,800
薄膜硬度計	平成6年3月31日	8,237,000
高温顕微硬度計	平成7年3月31日	20,998,700
三次元測定機	平成7年3月14日	123,700,000
三次元動作解析装置	平成9年3月12日	7,694,100
物理量計測システム	平成6年3月31日	6,780,500
音響計測システム	平成7年3月22日	29,883,700
準マイクロ波波形観測システム	平成17年10月28日	14,143,500
振動試験装置	平成21年1月29日	17,297,900
音響計測システム	平成16年12月27日	21,100,000
音響材料特性測定装置	平成17年12月19日	9,216,900
音響ホログラフィシステム	平成19年12月21日	28,350,000
自動調液装置	平成7年3月22日	16,694,300
微小領域色彩管理システム	平成21年3月19日	20,895,000
V O C 測定装置	平成16年2月10日	22,727,500
化学発光測定装置	平成16年11月29日	6,996,360
アクチュエータ特性計測システム	平成16年11月29日	5,964,000

平成24年3月23日 岡山県公報 号外

ゼータ電位測定装置	平成2年8月31日	19,670,000
超音波法ゼータ電位測定装置	平成7年3月31日	19,567,000
pH精密制御ゼータ電位測定装置	平成14年9月25日	7,135,000
流動電位自動測定装置	平成14年9月30日	8,290,000
切削動力計	平成7年1月10日	8,700,500
高温熱伝導率測定装置	平成7年3月31日	14,540,600
定常法熱伝導率測定装置	平成20年2月19日	6,930,000
自動熱膨張率試験装置	平成7年3月31日	10,915,000
湿潤熱測定装置	平成5年12月16日	7,374,000
カロリメーター	平成17年11月30日	19,530,000
ビスコグラフ	平成6年3月15日	5,559,000
粘弾性測定システム	平成11年1月27日	16,500,000
粘弾性レオメータ	平成14年9月27日	7,870,000
表面性測定機	平成7年3月30日	7,433,600
光特性測定装置	平成元年11月29日	7,361,500
ナノ粒子解析装置	平成21年10月27日	5,143,950
ナノカーボン表面物性測定装置	平成22年11月4日	11,910,931
色彩測定装置	昭和52年3月31日	6,350,000
高周波誘導プラズマ発光分光分析装置	平成11年1月28日	10,993,500
X線光電子分光分析装置	平成16年3月19日	44,656,500
分光光度計	平成18年3月16日	6,179,500
高周波プラズマ発光分光光度計	平成19年2月23日	18,742,500
赤外イメージングシステム	平成21年10月30日	31,500,000
エリプソメーター	平成7年3月1日	7,304,800
蛍光X線膜厚計	平成15年11月12日	10,789,000
ガス吸着測定装置	平成6年3月31日	11,430,000
多点式比表面積測定装置	平成14年3月11日	7,791,000
水蒸気吸着測定装置	平成14年11月26日	10,715,500
比表面積測定装置	平成16年11月26日	6,925,000
粒度評価システム	平成14年3月11日	7,476,000
繊維用小型印刷システム	平成19年9月26日	9,975,000
FPGA試作システム	平成12年11月16日	7,281,750
プリント回路基板試作システム	平成13年11月22日	16,375,000
車両走行解析ソフト	平成23年3月30日	13,524,000
構造解析システム	平成2年12月27日	15,756,000
計測データ処理システム	平成7年3月31日	8,494,500
プラスチック流動解析システム	平成7年3月31日	23,236,500

音響解析システム	平成10年2月6日	9,492,000
光電子分光装置用コンピュータコントロールシステム	平成10年3月20日	6,400,000
接触圧力分布測定システム	平成11年10月21日	9,057,300
バーチャル人体モデル	平成20年1月10日	5,197,500
3次元CADシステム	平成23年3月30日	14,700,000
X線回析装置	平成19年3月19日	9,224,500
マイクロフォーカスX線CT	平成20年1月16日	18,322,500
分離用超遠心	平成7年3月31日	9,576,000
マイクロ波加熱装置	平成17年2月28日	9,681,000
真空凍結乾燥機	平成14年3月25日	6,510,000
噴霧乾燥装置	平成19年11月27日	7,946,400
媒体流動乾燥装置	平成21年10月20日	14,280,000
オゾン発生装置	平成13年12月13日	6,452,500
ガス発生装置	平成18年1月31日	31,290,000
ガス分析装置	平成18年1月20日	5,215,350
高速液体クロマトグラフ	平成7年3月31日	5,456,000
超臨界流体抽出クロマトグラフ	平成7年3月31日	9,799,500
液体クロマトグラフ質量分析計	平成14年3月29日	26,040,000
ヘッドスペースガスクロマト質量分析計	平成15年11月26日	13,114,500
ガスクロマトグラフ	平成17年11月29日	18,238,500
クロマトグラフ	平成19年3月12日	11,025,000
超高压液体クロマトグラフタンデム質量分析計	平成19年10月31日	28,875,000
液体クロマトグラフシステム	平成20年10月27日	10,710,000
大型恒温恒湿槽	平成23年1月6日	7,975,000
混練機	平成19年3月9日	31,878,000
薄膜製造装置	平成7年3月8日	50,570,000
洗浄装置	平成18年3月16日	8,322,300
電気分析装置	平成17年12月27日	29,199,975
高感度DSC	平成6年3月31日	8,185,500
熱流体解析システム	平成19年10月31日	6,574,050
熱機械測定システム	平成19年11月29日	12,600,000
入力補償型熱分析装置	平成22年3月16日	10,710,000
ジャーファメンター	平成7年3月30日	7,541,700
ジャーファメンター	平成21年1月19日	6,930,000
高せん断高压型粉碎装置	平成21年10月29日	7,402,500
熱機械分析装置	平成6年3月31日	7,392,400

平成24年3月23日 岡山県公報 号外

波長別光エネルギー分析装置	平成7年3月22日	5,172,700
高温濡れ性固液間接触角測定装置	平成10年3月4日	5,455,000
パルス核磁気共鳴吸収スペクトル測定装置	平成11年1月29日	13,440,000
アミノ酸分析計	平成12年1月7日	8,395,000
簡易型FT-NMR装置	平成12年6月27日	8,977,500
動的応力解析システム	平成14年9月30日	9,140,500
プロテインシーケンサ	平成14年10月4日	15,960,000
酸化ハロゲンイオン分析装置	平成15年10月28日	5,145,000
マイクロ波イミュニティ試験システム	平成16年2月20日	17,110,000
DNAマイクロアレイ解析装置	平成16年10月27日	9,429,000
電子スピン共鳴装置	平成17年2月28日	8,820,000
アミノ酸分析計	平成17年11月8日	7,213,500
グロー放電発光分析装置	平成18年1月31日	43,974,000
糖鎖分析装置	平成18年11月21日	9,240,000
粒子画像速度測定システム	平成20年1月30日	19,320,000
放射イミュニティ耐性診断システム	平成21年2月20日	26,187,000
発酵特性解析装置	平成21年10月28日	7,200,000
窒素・タンパク質分析装置	平成21年10月29日	11,434,500
金属分散度測定装置	平成21年11月18日	14,910,000
複合ビーム加工観察装置	平成23年3月7日	61,792,500
バイオセパレーションシステム	平成7年3月31日	6,177,000
金属用マイクロトーム	平成23年2月24日	6,961,500
FRPオートクレーブ	平成21年2月24日	6,019,650
超高压処理装置	平成7年2月23日	16,892,000
冷熱サイクル試験機	平成7年3月31日	7,691,100
低温槽付計装化衝撃試験器	平成22年3月26日	10,290,000
加振機	平成7年3月31日	27,755,500
振動解析システム	平成19年12月26日	17,325,000
断面観察試料作成装置	平成17年9月29日	12,140,000
水蒸気透過度計	平成18年9月7日	6,400,000
電気特性試験機	平成5年12月22日	9,234,000
耐候試験機（キセノンフェードメーター）	平成3年1月14日	5,559,000
ガス腐食試験装置	平成6年1月26日	5,662,000
オゾンウェザーメーター	平成7年2月28日	6,074,000
スクラッチ試験機	平成6年3月31日	8,494,500
プラズマ製膜装置	平成7年3月31日	24,593,400

平成24年3月23日 岡山県公報 号外

陰極アーク放電型PVD装置	平成21年3月11日	68,880,000
ガス透過率測定器	平成7年3月31日	7,207,000
ねじり疲労試験システム	平成19年12月27日	28,864,500
槽付き万能材料試験機	平成6年9月7日	26,365,000
万能材料試験機	平成7年3月14日	9,782,000
加硫度試験機	平成8年1月17日	5,074,900
万能材料試験機	平成14年2月6日	10,807,900
万能材料試験機	平成17年12月27日	9,771,300
万能材料試験機	平成18年3月15日	5,596,700
加硫度試験機	平成21年1月16日	7,350,000
精密万能試験機	平成22年12月16日	24,780,000
パルスノイズ耐性試験システム	平成7年3月31日	7,104,000
パルスノイズ試験システム	平成20年1月15日	9,959,500
万能型織物引張試験機	平成元年10月25日	6,074,000
引張試験機	平成17年11月28日	5,985,000
超音波探査映像装置	平成7年3月30日	25,438,000
疲労試験機	平成7年3月31日	14,365,500
疲労耐久試験機	平成17年2月28日	16,102,800
粉体ガス反応装置	平成7年3月20日	7,310,000
熱間曲げ試験用強度測定装置	平成7年3月31日	6,486,000
噴射摩耗試験機	平成6年3月31日	5,394,200
摩擦摩耗試験機	平成18年2月28日	9,697,000
振動摩擦摩耗試験機	平成23年1月25日	25,725,000
万能測定顕微鏡	昭和46年3月22日	6,740,000
万能測定顕微鏡	平成7年3月15日	15,962,000
走査プローブ顕微鏡	平成13年2月28日	24,775,000
走査型電子顕微鏡	平成14年3月18日	12,442,500
集束イオンビーム装置	平成15年3月20日	56,070,000
ノマルスキー微分干渉計	平成16年9月30日	5,920,100
走査型レーザ生物顕微鏡	平成16年12月22日	24,411,450
顕微鏡	平成18年10月20日	10,710,000
電子顕微鏡	平成19年1月17日	16,590,000
透過型電子顕微鏡	平成19年3月30日	69,195,000
レーザーラマン顕微鏡	平成22年10月19日	50,473,500
半導体レーザ	平成17年2月23日	38,535,000
高速度カメラ	平成9年3月24日	12,875,000
計 212点		3,279,376,978

平成24年3月23日 岡山県公報 号外

県立南部高等技術専門校

品名	取得年月日	取得価格又は 評価額 (円)
折曲機 (プレスブレーキ)	平成3年3月13日	6,104,900
平面研削盤	平成5年12月13日	5,456,000
動力シャー	平成8年8月24日	7,928,000
定置式開板開先加工機	平成14年8月23日	6,662,500
自動旋盤	平成2年3月23日	6,970,100
マシニングセンタ	平成6年3月31日	12,604,200
NC旋盤	平成8年3月29日	12,202,500
複合CNC旋盤	平成20年2月29日	17,425,000
万能フライス盤	平成元年12月27日	5,229,400
立型フライス盤	平成5年11月30日	5,198,500
立てフライス盤	平成12年8月25日	5,455,000
ワイヤーカット放電加工機	平成20年2月14日	11,335,000
マシニングセンタ	平成20年2月28日	34,440,000
溶接ヒュームコレクター	平成14年8月26日	6,137,500
NCルータ	平成11年12月15日	7,765,000
CADシステム	平成13年6月29日	6,505,000
パソコンネットワークシステム	平成13年7月25日	6,347,500
CADシステム	平成14年3月15日	7,376,500
計 18点		171,142,600

農林水産総合センター農業研究所・農業大学校

品名	取得年月日	取得価格又は 評価額 (円)
野菜複合環境制御ガラス温室	平成19年12月18日	13,230,000
水稲複合環境制御ガラス温室	平成19年12月18日	10,815,000
自脱型コンバイン	平成9年3月12日	6,722,900
自脱型コンバイン	平成10年3月26日	10,022,500
自脱型コンバイン	平成13年10月30日	6,085,000
自脱型コンバイン	平成13年10月30日	5,297,500
汎用コンバイン	平成20年12月8日	6,809,500
スピードスプレーヤー	平成15年5月26日	5,770,000
ライスセンター	昭和42年12月8日	7,120,000
光合成蒸散測定装置	平成5年3月31日	7,001,000
光合成蒸散測定装置	平成20年12月18日	7,167,300
全窒素/全炭素測定装置	平成19年10月5日	10,416,000

平成24年3月23日 岡山県公報 号外

日射観測給液制御システム	平成5年10月4日	6,949,500
蛍光X線分析装置	平成20年11月20日	9,975,000
超遠心分離器	平成9年2月14日	9,246,400
ガスクロマトグラフ	平成6年11月30日	8,958,000
高速液体クロマトグラフ	平成7年1月31日	8,999,200
クロマトグラフ装置	平成18年12月25日	18,900,000
ヘッドスペースサンプラー付きGC-MS	平成20年12月16日	11,445,000
キャピラリー電気泳動システム	平成11年1月20日	6,820,000
病原菌接種用高湿度環境制御庫	平成23年1月31日	11,707,500
近赤外線品質食味分析計	平成4年3月24日	16,992,000
土壌分析装置	平成16年6月30日	6,085,000
分析装置	平成19年1月11日	13,650,000
波長別光エネルギー分析装置	平成19年12月13日	5,775,000
高速処理比色分析装置	平成22年12月27日	7,980,000
土壌・植物体微量元素分析装置	平成22年12月28日	8,158,500
ウルトラマイクローム	平成8年3月13日	11,584,500
人工降雨装置	平成19年11月7日	6,804,000
微小形態観察顕微鏡システム	平成22年2月26日	41,475,000
計 30点		307,961,300

農林水産総合センター生物科学研究所

品 名	取得年月日	取得価格又は 評価額 (円)
制御装置	平成19年2月15日	7,350,000
ドラフトチャンバー	平成9年3月12日	5,126,400
廃水処理装置	平成8年9月20日	12,305,500
廃水処理装置	平成8年12月25日	12,305,500
自動コロニーカウンター	平成9年1月22日	5,456,000
全窒素・全炭素分析装置	平成20年12月25日	9,870,000
UVマイクロプレートリーダー	平成9年3月14日	5,443,600
原子吸光光度計	平成20年3月25日	9,324,000
マルチモードアッセイシステム	平成20年11月12日	5,880,000
ポータブル近赤外分光光度計	平成23年1月14日	5,985,000
赤外イメージングシステム	平成23年1月17日	18,375,000
ソフトウエア	平成19年2月8日	10,342,500
ルミノイメジャー	平成10年3月26日	5,892,600
蛍光バイオイメージアナライザー	平成9年3月19日	16,065,000

平成24年3月23日 岡山県公報 号外

蛍光イメージャー	平成9年3月19日	16,065,000
遺伝子導入装置	平成8年9月20日	6,341,800
卓上型分離用超遠心機	平成7年1月31日	8,340,000
生体サンプル分離システム	平成8年10月7日	25,777,900
プラスミド抽出超遠心機システム	平成8年10月7日	26,838,800
軟X線発生装置	平成8年9月20日	5,425,100
モレキュラーイメージャー	平成8年11月29日	14,200,700
除湿ハニカム保存庫・冷却機	平成8年12月10日	20,700,000
ガスクロマトグラフ質量分析計	平成19年1月31日	10,290,000
高速液体クロマトグラフ	平成9年2月21日	27,910,000
二次元クロマトグラフィ	平成9年3月5日	8,607,800
微量蛋白質精製装置	平成9年3月26日	9,648,100
蛋白質分取システム	平成9年3月26日	9,957,100
ガスクロマトグラフ質量分析装置	平成9年3月28日	13,696,000
代謝分析システム	平成21年10月30日	7,812,000
超高速糖類同定装置	平成23年1月20日	8,326,500
DNA合成装置	平成5年10月29日	5,219,100
自動プラスミド精製装置	平成8年10月21日	10,482,400
分析用DNA電気泳動装置	平成8年11月29日	7,928,000
キャピラリー電気泳動装置	平成9年2月14日	13,337,500
低分子多変量解析システム	平成22年12月14日	5,906,250
シーケンスディテクションシステム	平成10年3月24日	14,154,000
熱分析システム	平成14年12月20日	5,705,700
炭酸ガスインキュベーター	平成8年9月20日	5,559,000
人工気象器	平成8年10月30日	23,542,800
実験用植物栽培装置	平成8年12月19日	6,434,500
植物培養装置	平成8年12月26日	11,502,100
ジャーファメンター	平成9年3月13日	5,775,000
閉鎖系屋外型人工気象室	平成13年1月31日	15,120,000
プレハブ式植物培養室	平成13年9月20日	6,972,000
微生物培養装置	平成18年2月8日	8,295,000
植物培養室	平成20年11月25日	10,489,500
蛍光式塩基配列決定装置	平成5年10月29日	22,481,900
抗原抗体結合分析装置	平成8年12月17日	30,925,500
DNAシーケンサーABI PRISM	平成9年1月9日	18,773,900
DNA塩基配列決定装置	平成9年1月9日	22,131,700
蛋白質アミノ酸配列決定装置	平成9年2月21日	15,550,000

円二色性分散計	平成9年3月17日	12,305,500
生体発光解析システム	平成9年3月25日	10,008,600
I C P 発光分光光度計	平成9年3月28日	21,730,000
飛行時間型質量分析装置	平成9年3月28日	28,087,500
自然環境再現装置	平成9年3月31日	43,045,000
全自動細胞解析装置	平成12年3月10日	14,154,000
生物分野用画像分析システム	平成13年2月15日	5,999,700
D N A 解析システム	平成13年10月19日	8,715,000
D N A 解析システム	平成14年2月6日	9,261,000
D N A マイクロアレイ解析装置	平成14年3月28日	43,680,000
D N A チップ解析装置	平成14年12月18日	7,140,000
バリアブルイメージアナライザ	平成15年11月5日	10,489,500
蛋白質分析装置	平成18年3月9日	31,993,500
質量分析計	平成18年3月10日	53,025,000
D N A 解析システム	平成18年12月18日	20,790,000
T i l l i n g 解析システム	平成19年12月25日	13,587,000
リアルタイム P C R システム	平成20年2月26日	11,434,500
ダンデム四重極型質量分析計	平成20年3月11日	12,705,000
C O 2 固定速度分析装置	平成20年12月25日	8,856,750
イメージングパム	平成21年1月13日	6,300,000
マイクロアレイ解析システム	平成21年1月15日	7,560,000
マルチスペクトルイメージングシステム	平成21年1月21日	10,678,500
安定同体比質量分析装置	平成22年1月27日	34,650,000
光合成蒸散・クロロフィル蛍光測定装置	平成22年3月24日	7,996,380
D N A マイクロアレイスキャナー	平成23年2月15日	6,972,000
透過型電子顕微鏡観察用資料作成装置	平成8年10月21日	26,983,000
隔離温室用オートクレーブ	平成8年11月15日	7,928,000
超低温フリーザ	平成8年10月3日	12,855,500
プレハブ培養・保管庫	平成8年10月3日	17,702,700
走査型電子顕微鏡	平成8年10月21日	25,777,900
万能写真顕微鏡	平成8年12月19日	5,641,400
蛍光顕微鏡	平成8年12月19日	5,929,800
半自動マイクロインジェクションシステム	平成8年12月19日	10,729,600
原子間力顕微鏡	平成9年1月14日	59,531,000
全自動画像解析装置	平成9年2月7日	29,300,500
顕微分光分析装置	平成9年2月7日	41,815,000

平成24年3月23日 岡山県公報 号外

共焦点レーザースキャン顕微鏡	平成9年2月7日	52,115,000
透過型電子顕微鏡	平成9年3月25日	27,013,900
共焦点レーザースキャン顕微鏡	平成15年11月25日	28,003,500
走査型電子顕微鏡	平成17年3月30日	28,980,000
顕微鏡	平成18年2月24日	18,821,250
顕微鏡	平成19年3月1日	18,448,500
電動蛍光実体顕微鏡システム	平成20年2月18日	7,098,000
スロースキャンカメラ	平成15年2月14日	8,190,000
ジーンチップ用スキャナー	平成19年1月11日	19,147,800
計 96点		1,509,120,530

岡山工業高等学校

品 名	取得年月日	取得価格又は 評価額 (円)
破砕機 (ジョークラッシャー)	平成22年10月27日	6,137,500
高速昇温電気炉	平成17年3月8日	5,455,000
平面研削盤	平成元年12月27日	5,662,000
旋盤	平成18年2月27日	7,450,000
万能フライス盤	昭和61年1月31日	5,250,000
数値制御工作機	平成5年3月31日	12,048,000
制御装置	平成20年1月17日	14,695,000
トータルステーション	平成8年3月5日	5,641,400
測量機	平成18年10月13日	9,550,000
原子吸光光度計	平成17年3月14日	5,770,000
電子計算組織	平成19年3月6日	11,335,000
CADシステム	平成20年12月26日	5,035,000
CADシステム	平成20年12月26日	5,035,000
X線回析装置	平成18年1月19日	5,560,000
ガスクロマトグラフ分析装置	平成17年3月25日	6,400,000
水理学トータル実験装置	平成16年11月30日	16,322,500
内燃機関性能総合試験装置	平成22年3月25日	7,800,000
万能材料試験機	平成元年11月15日	8,294,600
万能材料試験機	平成7年3月8日	12,544,900
万能試験機	平成17年1月14日	15,587,500
計 20点		171,573,400

倉敷工業高等学校

品 名	取得年月日	取得価格又は 評価額 (円)

F A システム	平成6年9月26日	33,979,200
数値制御工作機	平成6年3月15日	18,382,500
数値制御工作機	平成9年2月26日	11,786,900
C N C フライス盤	平成6年3月31日	12,975,000
フライス盤	平成19年2月22日	6,746,500
操作フライス盤	平成20年3月18日	8,416,000
立フライス盤	平成21年2月20日	6,295,000
放電加工機	平成5年3月31日	12,696,350
ダイレクトジャガード織機システム	平成4年9月4日	18,800,000
産業用ロボット (字書きロボット)	平成17年7月1日	6,178,000
自動制御装置	平成2年3月30日	5,960,700
位置決め制御実習装置	平成6年12月9日	11,739,000
制御実習装置	平成14年3月25日	27,809,500
三次元測定機	平成6年3月31日	9,967,400
C A D システム	平成21年3月16日	5,973,900
人工宝石製造実習プラント	平成16年2月13日	25,825,000
乾燥機	平成6年3月29日	5,868,000
精留塔	平成12年8月31日	6,400,000
C C M システム	平成4年3月31日	20,082,000
高電圧試験装置	平成19年3月16日	11,072,500
水力実験装置	平成元年3月31日	6,630,000
内燃機関性能総合試験装置	平成22年3月26日	7,800,000
油圧試験機	平成7年2月28日	5,095,500
流動実験装置	平成12年8月31日	6,526,000
走査電子顕微鏡	平成15年3月17日	10,390,000
計 25点		303,394,950

水島工業高等学校

品 名	取得年月日	取得価格又は 評価額 (円)
円筒研削盤	平成8年12月20日	6,177,000
シェルモールド装置	平成11年11月25日	5,545,450
数値制御工作機	平成9年2月26日	9,267,500
プラント (植物油エステル化燃料製造装置)	平成13年11月29日	27,043,000
ホブ盤	昭和63年12月28日	6,090,000
C N C フライス盤	平成6年3月31日	15,614,000
立フライス盤	平成9年1月29日	5,095,500
自動制御装置付アーク溶接機	平成9年12月25日	14,484,500

平成24年3月23日 岡山県公報 号外

溶解炉	平成11年2月9日	15,136,000
ロボット制御装置	平成6年3月31日	6,767,300
CADシステム	平成10年12月24日	12,123,455
CADシステム	平成17年3月17日	11,702,500
CADシステム	平成19年1月31日	9,949,000
電子計算組織	平成20年2月29日	10,705,000
精留装置	平成13年11月21日	5,560,000
高電圧実習装置	平成16年2月20日	11,860,000
水力実験装置	平成9年2月25日	7,299,700
内燃機関性能試験装置	昭和60年2月28日	5,090,000
万能材料試験機	昭和60年2月15日	6,160,000
油圧実験装置	平成9年3月18日	5,044,000
計 20点		196,713,905

津山工業高等学校

品 名	取得年月日	取得価格又は 評価額 (円)
FAシステム	平成6年9月21日	34,388,700
シェルモールド装置	平成10年11月17日	5,161,000
石けん製造プラント	平成6年3月31日	13,078,000
数値制御工作機	昭和55年3月26日	16,550,000
数値制御工作機	平成6年3月18日	18,434,000
立フライス盤	平成21年2月20日	6,295,000
放電加工機	平成3年3月30日	5,538,400
ワイヤーカット放電加工機	平成7年12月20日	12,624,800
位置決制御実習装置	平成7年12月28日	8,958,000
トータルステーション	平成8年3月5日	5,189,875
三次元測定装置	平成8年3月21日	10,245,500
電子計算組織	平成11年10月29日	19,735,000
電子計算組織	平成17年2月25日	11,490,400
CADシステム	平成17年2月28日	11,800,100
電子計算組織	平成18年1月31日	9,756,800
精留装置	平成6年3月31日	6,207,900
内燃機関性能総合試験装置	平成10年12月11日	12,259,000
万能材料試験機	平成5年3月31日	13,281,940
計 18点		220,994,415
合計 543点		7,531,854,978